

分野（領域）	専門基礎分野	科目名	栄養学		
単位（時間）	1（15時間）	開講時期	1年次	2年次	3年次
講師	外部講師				
科目目標	1. 人間にとっての栄養の意義と代謝について理解する。 2. 各栄養素の種類と働きを知る。 3. 各発達段階に応じた栄養のあり方を理解する。				
<b>【講義内容】</b> 第1章 人間栄養学と看護 A. 栄養を学ぶということ B. 保健・医療における栄養学 C. 看護と栄養 第2章 栄養素の種類とはたらき A. 糖質 B. 脂質 C. タンパク質 D. ビタミン E. ミネラル F. 食物繊維 第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 A. 食物の消化 B. 栄養素の吸収 C. 血漿成分と絵要素 D. 栄養素の代謝 E. 吸収・代謝産物の排泄 第4章 エネルギー代謝 A. 食品のエネルギー B. 体内のエネルギー C. エネルギー代謝の測定 D. エネルギー消費 第5章 食事と食品 A. 人間の食事と食文化 B. 日本人の食事摂取基準 C. 食品と栄養素 D. 食品群とその分類法 E. 食品の調理 第6章 栄養ケア・マネジメント A. チームアプローチと栄養ケア・マネジメント B. 栄養スクリーニング C. 栄養アセスメント D. 栄養ケア計画 E. 栄養ケア計画の実施とその確認 F. 栄養ケア計画・マネジメントの評価 第7章 栄養状態の評価・判定 A. 栄養アセスメントとその歴史 B. 栄養アセスメントの目的 C. 栄養状態の評価・判定法 第8章 ライフステージと栄養 A. 乳児期における栄養 B. 乳児期における栄養 C. 学童期における栄養 D. 思春期・青年期における栄養 E. 成人期における栄養 F. 妊娠期における栄養 G. 授乳期における栄養 H. 更年期における栄養 I. 高齢期における栄養 第9章 臨床栄養 A. チームで取り組む栄養管理 B. 栄養補給法 C. 病院食 D. 経管栄養製品 E. 静脈栄養剤 F. 疾患・症状別食事療法の実際 G. 場面別の栄養管理 H. がんの食事療法 第10章 健康づくりと食生活 A. 食生活の変遷と栄養の問題点 B. 生活習慣病の予防 C. 食生活の改善への施策 D. 食の安全性と表示					
<b>【テキスト／参考文献】</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[3] 栄養学 第1章～第10章					
<b>【評価】</b> 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする					